

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願 2007-547083
起案日 平成22年 8月10日
特許庁審査官 大島 忠宏 3966 4Q00
特許出願人代理人 志賀 正武 (外 3名) 様
適用条文 第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

理由 1

本願請求項1には、「膜の外側を隔離するステップ」を備える旨の記載がされているが、当該ステップとは具体的にどのような操作を行うのかが不明である（つまりところ、本願発明の洗浄方法を適用するためには、その前提条件として、モジュールが大気に対して開／閉するための制御可能なバルブを有する容器内に設置されていることが必要であるが、そのような態様が記載されていないから、以降のステップが不明確なものとなっている。そして、上記隔離するステップとは、バルブを閉じることによって容器を大気に対して閉とするものであり、それによって、膜の外側で圧力が増加する（すなわち、容器内の圧力が増加する）ステップも明確なものとなる。）。

<新規性、進歩性に関する拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項（1-7）に係る発明については、現時点では、新規性、進歩性に関する拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

- ・調査した分野 I P C B 0 1 D 6 5 / 0 6
B 0 1 D 6 5 / 0 2
C 0 2 F 1 / 4 4
- ・先行技術文献 特開2000-079390号公報
特開2002-177746号公報
特開平10-328538号公報
特開平02-126922号公報
特開2003-071254号公報
特開2001-120963号公報
特開2002-263407号公報
特開平02-164423号公報
特開平10-286441号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第三部 環境化学（分離処理） 大島 忠宏
TEL. 03 (3581) 1101 内線3468
FAX. 03 (3592) 6877